

～はぐくみコース～ <はぐくみ賞 4団体>

■ 特定非営利活動法人 お一えんくらぶ（兵庫）／助成額10万円

お一えんくらぶ春の陣・夏の陣・冬の陣

<p>団体概要</p>	<p>2017年6月に子育て中の親子を支援するため、子どもたちの居場所をつくった。地域のお母さんたちを巻き込み各種講座の企画・開催を行ったり、「まなび隊」、「楽しみ隊」の活動を通して、学年を越えたつながりをつくり、子どもたちが気軽に来られて、安心して過ごせる場所を提供している。</p>
<p>応募プログラムの概要</p>	<p>団体として3年目を迎え、夏休み、冬休み、春休みの期間に合計35日居場所を開催し、各日30名の子どもを受け入れる。まなび隊では、異学年と一緒に勉強することで、教え合ったり助け合ったりする場面をつくる。楽しみ隊では、参加した親が他の子どもの様子を見ることで、自分の子どもの課題だけでなくいいところを発見できる機会をつくる。また、遊びながら勉強することで、子どもの興味を広げる機会をつくる。</p>
<p>審査講評</p>	<p>当団体の事業は、地域の子どもたちが気軽に来られて、安心して過ごせる居場所プログラムであり、審査委員会では、「社会性」や「市民主体性」について高い評価を行った。 本アワードの助成を契機に賛同者を増やし、事業の開催頻度の向上と他校区などへの広がりを大いに期待したい。</p>

■ 特定非営利活動法人 そいる（兵庫）／助成額10万円

「あそび広場」

<p>団体概要</p>	<p>発達の良い気になる子どもや障がいを持った子どもへの専門的な支援や相談ができる場所が必要と考え、2018年5月に兵庫県三木市で設立した団体。子どもの発達に合わせた遊び場を提供したり、子どもの発達に関連することや障がい特性とその対応に関連することについての学習会を実施している。</p>
<p>応募プログラムの概要</p>	<p>昨年度より続けてきた月1回の「あそびの広場」に、子どもの特性に合わせた遊びを提供するための楽器や姿勢保持のためのクッションを揃え、成功体験や楽しい経験を積めるようにする。また、学習会では、「運動発達と遊びについて」と「こどもの発達と感覚について」のテーマで開催する。</p>
<p>審査講評</p>	<p>これまで発達の良い気になる子どもや障がいを持った子どもへの専門的な支援が不足していた地域での団体の活動を応援する助成となる。審査委員会では、「実現性」「効果と発展性」「市民主体性」について高い評価を行った。 本アワードの助成を契機に、当該団体の活動が地域に広まり、障がいを持った子どもへの支援の質の向上につながっていくことを大いに期待したい。</p>

■ とらいさぽーと(大阪) /助成額10万円

とらいさぽーと地域生活支援室

<p>団体概要</p>	<p>現代社会の課題となっている引きこもりやニートなどの対策として、学校から社会への移行期の早い段階で地域で生活するためのソーシャル・スキル・トレーニングや生活スキルの指導を個別の支援計画に基づいて定期的に行い、当事者や家族と地域社会との関わりを結ぶ、中間的役割を担っている。</p>
<p>応募プログラムの概要</p>	<p>発達障がいのある学齢期の子どもを対象に、将来の暮らし(アパートやグループホームなど)のためのソーシャル・スキル・トレーニングや自炊や掃除などのライフ・スキル・トレーニングを毎月4回、余暇支援を毎月1回実施する。また、保護者を対象に将来の暮らしのための支援に関する情報を提供する。</p>
<p>審査講評</p>	<p>当団体の事業は、発達障がいのある子どもを対象にした、社会に出る前の伴走型サポートプログラムであり、審査委員会では、「実現性」「効果と発展性」「市民主体性」について高く評価した。 本アワードの助成を契機に、当該団体の視点、プログラムが広く社会に理解され、安心社会の実現につながっていくことを期待したい。</p>

■ ママコミュ!ドットコム(大阪) /10万円

災害で命を失う子どもをなくすため、子どもにもっと防災のチカラを!

U-15のための防災ワークショップ(ジュニア防災キャプテン認定講座)

<p>団体概要</p>	<p>子育て層の防災をテーマにした「おやこ防災サロン」を開催。また、「ジュニア防災キャプテン」の認定制度を構築し、身近な防災啓発の担い手として長期的視野で人材育成に取り組んでいる。一方で、行政、地域、学校、企業等からの依頼で、子育てや教育、防災に関するテーマで出張講座を行っている。</p>
<p>応募プログラムの概要</p>	<p>子育て層が抱える災害リスクにフォーカスし、15歳以下の子どもを対象に、一日に3つの講座を開催。子どもの年齢や理解度、関心度に応じて、自由に選択し受講できる総合型のワークショップの開催。所定の課程を終えた子どもには「ジュニア防災キャプテン」の認定証と、子ども自身が考え完成させる「My防災リュック」を贈呈し、地域や家庭における身近な防災啓発の担い手として長期的視野で人材育成に取り組むプログラムを実施する。</p>
<p>審査講評</p>	<p>当団体の事業は、これから大人になっていく子どもに実践的な防災の視点とスキルを身につけさせることを通し、地域コミュニティの質の向上を目指したプログラムであり、審査委員会では「創意工夫」「社会性」「実現性」「効果と発展性」「組織の継続性・運営体制・活動歴」について高く評価した。 本アワードの助成を契機に、さらにステップアップして、当団体の視点とプログラムが防災の「新しいスタンダード」として地域や学校へ広がっていくことを期待したい</p>